



漢方に関するがん医療従事者の学習機会と処方実態についてのオンライン調査研究

KAMPUS study ご協力をお願い

日本がんサポーターブケア学会 漢方部会長
福井県済生会病院内科部長
元雄良治

拝啓、向春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素より日本がんサポーターブケア学会 漢方部会の活動にご理解ご協力賜り感謝申し上げます。

当部会ではこの度、がん医療従事者を対象としたアンケート調査研究を企画致しました。がん医療従事者の皆様におかれましては、日常診療の現場において患者様から漢方薬について相談を受けたり、学会・研究会などで漢方薬のエビデンスや作用機序の話が聞かれたりすることがあるかと思えます。

このオンライン調査研究(KAMPUS study, KAMPUS: Kampo Use Survey)では、

- ①がん医療従事者の皆様の漢方の学習機会と漢方に対する認識、
- ②医師の方にはさらに漢方薬（医療用漢方製剤）の処方実態

についてオンラインでのアンケートにより情報を収集し調査致します。

アンケートは匿名での入力形式とし、参加者の個人情報を特定するようなものは一切収集致しません。

本研究により得られた結果をもとに、現代がん医療の中での漢方の立ち位置とニーズを確認致します。

本研究は埼玉医科大学国際医療センター倫理委員会の審議を経て承認されております（国 2023-122）。また研究の内容につきましては大学病院医療情報ネットワーク（UMIN000052856）からもご参照頂くことが出来ます。アンケートは 14-30 項目で、回答に要する時間は 5-10 分程度となっております。お忙しいところ、恐縮ではございますが、本研究へのご理解ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い致します

敬具

アンケート参加 URL は以下となります。

<https://jp.surveymonkey.com/r/KAMPUS-STUDY>



QR コードからもアクセス可能です。

研究の概要

- ・対象：医療従事者
- ・主な適格基準：1) 日本がんサポーターブケア学会、日本臨床腫瘍学会に所属する医療従事者
2) がん患者に直接的あるいは間接的に関わっている者
- ・目標症例数：1000 例
- ・登録期間（アンケート収集期間）：2024 年 2 月 1 日～2024 年 3 月 31 日
- ・データ収集方法：オンラインアンケートツール SurveyMonkey®を使用
《研究事務局》埼玉医科大学国際医療センター KAMPUS study 事務局
E-mail: konnami@saitama-med.ac.jp

KAMPUS



study

